



カバーストーリー

広島 灯籠流し

広島では、毎年8月6日に行われる平和記念式典の一環として、平和記念公園の横を流れる元安川で、「灯籠流し」が実施されます。

原爆で親族や知人を失った遺族などが「供養」と「復興」を願い、原爆で亡くなられた被災者の名前を書いた手作りの灯籠を川に流したのが始まりと言われています。今では、平和への願いを書いた灯籠が流されるなど、平和な世界を目指すための象徴的な行事としての役割も果たしています。

シイラ

シイラは、熱帯から温帯域の暖かい海に生息する大型魚で、成魚では体長2m前後まで成長します。主に沖合の表層を遊泳し、流木や流れ藻などの漂流物のかげに集まり、群れをなす習性があります。体は細長く、非常に側偏しており、オスは盛り上がった額が特徴的で、エメラルドグリーンの体色がとても鮮やかです。体の割に身が少ないことから、殻ばかりで実のないモミの「しいな」が名前の由来とされています。ハワイでは「マヒマヒ」という名で高級魚として扱われています。

TOPICS

- ◆平成4年10月に公表された「騒音障害防止のためのガイドライン」が令和5年4月に31年ぶりに改訂されました。行政の動きで取り上げておりますのでご確認ください。
- ◆建設業の死者数ならびに建設業の死者のうち墜落・転落災害による死者数とともに増加傾向にあることから、本年も建災防では、8月1日から9月10日までを期間とする「墜

落・転落災害撲滅キャンペーン」を実施します。記事として同キャンペーンの概要を掲載するとともに、保護具コーナーには、サンコー様から「フルハーネスの特長・効果を再確認」と題する記事をご寄稿いただきましたので、併せてご確認ください。

目次

○行政の動き	2
騒音障害防止のためのガイドラインの改訂	
○元監督官が解説!「送検事例から学ぶ安全」No 4	5
低圧引込線付近の単管足場上で足場解体の作業員が感電死。感電防止措置を講じていなかったとして元請、下請とも送検。特定社会保険労務士 森井 博子	
○建災防の取組み	6
墜落・転落災害撲滅キャンペーンの実施 編集部	
○建災防協進会 安全衛生保護具・機器コーナー	7
フルハーネスの特長・効果を再確認 サンコー(株) 技術部 次長 前田 経士	
○災害事例に学ぶ	15
開口部養生蓋の上を通行し墜落	
○わが社の安全	
①日本無線の建設業における安全衛生管理水準向上への取組み	18
～「背中を見せて育てる」文化から明文化と仕組化を通じたD&Iな文化へ～ 日本無線(株) ソリューション事業部 装備統括部 担当部長 上野 治仁 福山亜希子、武田順子、石村まさみ、國吉規子、本多順子	
②全長420mの仮設計画	23
仙建工業(株) 盛岡支店 盛岡建築出張所 副所長 藤原 克彰	
○COHSMS認定	26
(株)竹中土木 名古屋支店、(株)佐藤産業が新規認定、平岩建設(株)、(株)ユーディケー、(株)中野建設が更新認定!! 建設業労働安全衛生マネジメントシステムセンター	
○建災防の活動	27
第163回常任理事会・第152回理事会・第61回総代会を開催	
○災害統計	32

建災防からのお知らせ

- ◆第60回全国建設業労働災害防止大会in広島 開催のご案内
- ◆講師用パワーポイント(CD-ROM)等のご案内/ポスターのぼりのご案内
- ◆コスモス説明会のご案内/お知らせ
- ◆中小建設業者等の皆様へ安全衛生に関する支援を無料で行います!!